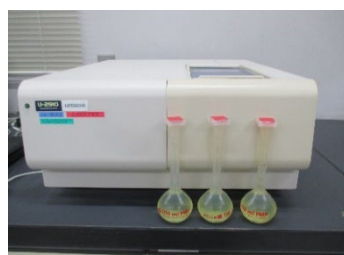




アルカリシリカ反応（ASR）とは、コンクリート内の骨材（反応性シリカ鉱物）とコンクリート中のアルカリ成分が反応することによって反応性の高いシリカがゲル状物質に変化する現象です。このシリカゲルが水分を吸水することで、異常膨張やひび割れが発生し、構造物を脅かす劣化につながります。

当機構は、アルカリシリカ反応性試験を行っており、JNLAロゴ付成績書を発行しています。



溶解シリカ量測定状況

アルカリ濃度減少量
滴定状況モルタルバー法の
測長状況モルタルバー法
試料作製状況

試験方法

試験方法	供試体	骨材のアルカリシリカ反応性の判定
JIS A 1145 化学法	細骨材 もしくは 粗骨材	溶解シリカ量とアルカリ濃度減少量から無害であるかどうかの判定を行います。
JIS A 1146 モルタルバー法		・ダイヤルゲージ法による測定 ・長さ変化（脱型後、2、4、8、13、26 週）を測定 3 本の平均膨張率を算出し、無害であるかどうかの判定を行います。
JIS A 1804 迅速法 ※迅速法のみ JNLAロゴは付きません		・煮沸による反応促進 ・長さ変化率によって無害であるかどうかの判定を行います。

※必要な試料の量をご相談ください。

お問い合わせ先

<https://www.jqa.jp>

一般財団法人 日本品質保証機構

<マテリアルテクノ営業部>

関東営業課 〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-12

TEL 03-3474-2525 / FAX 03-3474-3021

E-mail kanto-mt-cstm@jqa.jp

中部営業課 〒481-0043 愛知県北名古屋市沖村沖浦39

TEL 0568-24-2204 / FAX 0568-24-1630

E-mail chubu-mt-cstm@jqa.jp

関西営業課 〒578-0921 大阪府東大阪市水走3-8-19

TEL 072-966-7207 / FAX 072-966-7885

E-mail kansai-mt-cstm@jqa.jp